

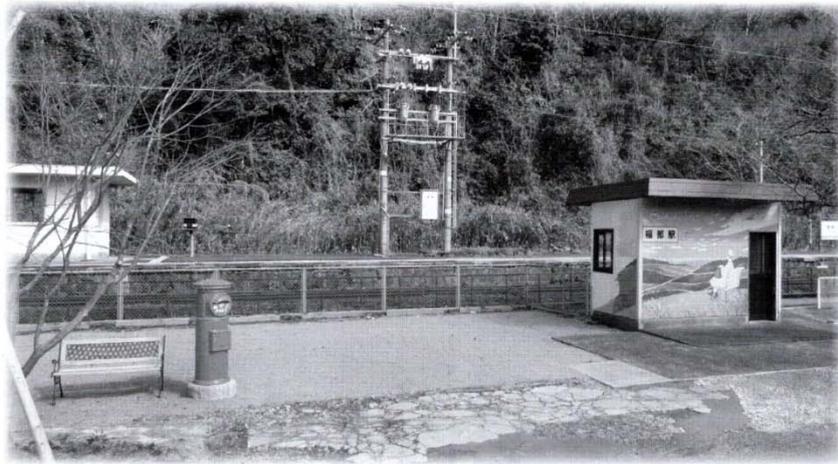
●ふくべ文化協会だよりに「福部駅のにぎわい創出に挑戦」の見出しで福部駅の整備事業が紹介されました。

鳥取市の「輝く中山間地域創出事業」補助金を活用して、福部駅のリニューアル・駅周辺の美化活動

が「ふくべ文化協会だより」に紹介されました。

# ふくべ文化協会だより

福部町文化協会情報 No.15 R 5.3 発行



リニューアルされた福部駅

## 福部駅の「にぎわい創出」に挑戦

多鯨ヶ池活性化委員会 飼牛 明

福部駅は今年開業百十二年を迎えます。

近年周辺の人口減少や乗用車の普及と道路整備が急速に進み、駅の利用者も年々減少傾向にあり、赤字路線の廃駅・廃線が囁かれる中、福部駅も例外ではなく消えてなくなる危機感を抱いています。

今行動を起こし何としても福部駅を存続したいとの気持ちから、鳥取市の「輝く中山間地域創出事業助成金」を活用して、まずは話題性のある駅作りを進め、その後駅を拠点とした福部歴史探訪ウォーキングイベントや福部農産物の料理講習など利用客を増やしたいと思っています。

話題性のある駅作りに向けて…

令和三年度は鳥取県下の先進地視察「ピンクが特徴の恋山形駅」や「昭和レトロが特徴の御来屋駅」などを視察して福部駅の話題性方向性を絞り込み活動をしました。

令和四年度は駅周辺の生垣剪定、雑木伐採、雑草草刈り、駅前メインツリーの植え替え（珊瑚樹をイロハ

モミジハ）、駅舎壁面にイラスト描写（福部町出身のイラストレーター伊吹春香さん）、路面整備、丸形郵便ポストとレトロベンチの設置（郵便ポストは福部未来学園様の提供）など、テレビ・新聞にその様子が取り上げられました。

令和五年度は前述のように駅を拠点としたイベント開催を福部町内の各団体との協働で開催予定です。

福部駅の持続可能な活動を継続するために、協働団体がそれぞれの活動を担当。加えて町民の共通課題「福部駅のにぎわい創出」を忘れなためと一人でも多くの方に参画して頂けるように鳥取県ふる里納税制度「ギフ鳥」にエントリーしました。皆様のご協力をよろしく願います。

